

(別添4)

【射水市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

第2期射水市教育振興基本計画の「確かな学力の定着」を実現するため、ICT機器等を活用し、個々の状況に応じた多様な学びの実現を目指すとともに、学習指導要領の着実な実施のもと、基本的な知識や技能を確実に習得し、主体的・協働的に学び、お互いに高め合うことのできる児童生徒を育成する教育を推進する。

2 GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向け、平成30年度からネットワーク環境を整備し、令和元年度から1人1台端末、学習支援システム等の整備を実施した。また、ICT支援員の配置やICT活用実践事例データの蓄積・共有を図った。ICT機器等を効果的に活用することができるよう整備しており、教職員のICTスキルの向上とともに、端末の利活用頻度も上昇していると認識している。

しかし、教職員のICTスキルについては一定の習熟度はあるものの個人差がある点、利活用頻度の評価について客観的なデータに基づいた利活用状況の把握や活用状況に応じた支援ができていない点が課題である。

3 1人1台端末の利活用方策

GIGAスクール構想の実現に向け整備した1人1台端末等を計画的に更新するとともに、本市が目指す学びの姿の実現を図るため、以下の施策を実施する。

端末の利活用については、教職員が積極的に端末を活用できるよう環境整備・研修・支援の充実を図るとともに、児童生徒の理解度や進度に合わせた個別最適な学びを実施できるよう習熟度を高める取り組みを継続して行う。また、児童生徒は端末を利用して調べ学習、発表等を行うほか、家庭学習を含め、日常的に端末を利用する機会を作る等、これまで以上の利活用を推進する。

端末の利活用について、別紙の利活用指標及び目標を設定する。利活用状況については、利活用指標に基づく評価のほか、客観的な利活用データの分析・評価を行い、利活用における効果検証や各学校の実態に応じた適切な支援を行う等、目標達成に向けた施策を継続して推進する。

【別紙】 1人1台端末の利活用指標および目標

項目	指標	目標値 (目標年度)
1人1台端末の積極的活用	毎年度 ICT 研修を受講する教員の率	100% (R7)
	情報通信技術支援員 (ICT 支援員) の配置人数	4校/人 (現状維持)
	1人1台端末を週3回以上活用する学校の率	100% (R7)
	デジタル教科書を実践的に活用している学校の率	100% (R10)
個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	100% (R8)
	児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	80% (R8)
	教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	80% (R8)
	児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	80% (R8)
	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	80% (R8)
学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率	100% (R8)
	希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率	100% (R8)
	外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率	100% (R8)
	障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率	100% (R8)

※各指標における評価は文部科学省が実施する調査に基づき行うものとし、調査内容の変更に応じて指標、目標値を随時見直すものとする。